



Norito Nakano

中野 剛人

株式会社eWeLL
代表取締役社長



【PROFILE】

1973年生まれ
大阪府枚方市出身。ジェットスキープロライダー（世界2位）、飲食店経営、介護ボランティアを経て現職。レース練習中の事故で9日間意識不明となった折に看護師に命を救われたのを機に、訪問看護師の業務を支援する事業を志し、2012年にeWeLLを設立。まだ世に無いものは自分たちの手で創る理念のもと、誰でも簡単に使える業務支援の訪問看護専用電子カルテ『iBow(アイボウ)』を開発し、業界シェアトップとなる。

【創業年】 2012年

アナログだった訪問看護業務のDXを実現し、訪問看護師の業務を効率化するとともに、これまで紙に手書きされていたため活用できていなかった慢性期医療情報を活用可能な形でデジタル化。勤怠管理や保険請求代行など、訪問看護に特化し現場に寄り添った革新的サービスを次々と展開中。

【座右の銘】 既に世にあるものは活用し、
まだ無いものは自分たちの手で創る

会社の特徴

挑戦を恐れず、 イノベーションで在宅療養の現場を変革

私たちは「ひとを幸せにする」をミッションとして掲げ、全ての人々が安心して暮らせる社会を目指しています。そのために挑戦を恐れず、世の中にまだ無いものを創造し、在宅療養を支援する新しいシステムとサービスを追求して、医療従事者が本来の業務に集中できる環境をITを活用して提供し続けていきます。

事業・サービスの強み

訪問看護に寄り添い、 共に成長する好循環なビジネスモデルで地域医療を支援する

『iBow』は基本料金と1訪問100円のサブスクリプションの料金です。これは、ITで訪問看護事業所の生産性を上げれば訪問件数と売上も伸び、私たちの利益も増えるWIN-WINなビジネスモデルです。私たちのサービスは全国47都道府県の訪問看護事業所で毎日実際に使われており、好循環を生み出しています。

【会社所在地】〒541-0051 大阪府大阪市中央区備後町3丁目3-3 サンビル備後町9階

【事業紹介】訪問看護事業者向けにITを活用した業務支援サービスを展開。訪問看護専用電子カルテ『iBow』等の開発及び提供を行い、業務効率化とより良い在宅療養の実現を支援する。

現場で本当に役に立つシステムを追求

当時、訪問看護の業務全般を支援するシステムが無く、膨大な書類を手書きしていた訪問看護師が、限られたリソースでより多くの患者をケアできるよう、ITで訪問看護業務を効率化しようと考えました。そのために、訪問看護の複雑な業務を網羅し、徹底的にUI・UXを追求して誰でも簡単に使える電子カルテを開発しました。



▲ITとサービスで地域医療を支援



▲訪問看護専用電子カルテiBow